

クリスマス忘年会 ～2022～

12月8日(木)に愛の浜園多目的ホールでクリスマス会を行いました。毎年、みんなが楽しみにしているクリスマス。「今年はどうするの?」「どこでやるの?」と聞きに来る利用者さんもいました。今年もコロナウィルス感染対策を考え準備を行いました。昼食は大勢での会食を避け、食堂で食事をし、多目的ホールでの余興をみんなで楽しむ形としました。伊元さんによる祝踊から始まり、男性からは、「利用者さん職員と一緒にハンドベルに挑戦」女性には「懐かしの歌。中森明菜」就労からは「利用者さん職員による奄美大島の踊り」奄美看護福祉専門学校からは「フレッシュなダンス」、希望者によるカラオケ、恒例となりました「愛の浜ジャンベ」と盛大に楽しむ事が出来ました。最後は、坂井文也さんによる元気な万歳三唱で締めとし、とても楽しい1日となりました。職員と利用者さんと「一緒に楽しむ」愛の浜園らしさがあふれ出る素敵な時間でした。また来年もみんなで過ごせる事を願っています。

(記事: 里田)



奄美看護福祉専門学校のみなさん

ありがとうございました!!

月間三賞受賞者

おめでとうございます

<努力賞>

<努力賞>

- ・伊元 サチ子さん: クリスマス・忘年会で踊りを披露し、練習の成果を発揮する事が出来ました。
- ・島本 誠さん、徳 朋裕さん、榮 徹さん、隈元 利彦さん、窪田 健太さん、宝田 元気さん、猿渡 明弘さん、榮 敏郎さん: ハンドベルの練習を頑張りました。
- ・森山 真智代さん: 体を休める事が必要であることを理解して、自ら休養する時間を設ける事が出来ました。
- ・中田 茂代さん: 居室の掃除、作業を頑張りました。
- ・中田 信枝さん: 毎朝、早起きする事が出来ました。
- ・竹田 美喜子さん: 居室の掃除、花への水かけを頑張りました。

- ・猿渡 明弘さん: 陶芸で使う水の水汲みを頑張りました。
- ・田畑 榮さん: 物を大事に使う事が出来ました。
- ・森山 義範さん: 服をきれいに畳む事が出来ました。
- ・西 順子さん: 分別後のピンを奥の方までしっかりと投げる事が出来ました。
- ・高 由香さん: 他の利用者を気遣って、ペットボトルの袋を持って運ぶことができるようになりました。
- <親切賞>
- ・圓 初代さん: ゴミ捨てをしてくれました。
- <奉仕賞>
- ・皆田 綾子さん: ペーパータオルの補充をしてくれました。

～おしらせ～

令和5年1月1日よりサービス管理責任者が変更となりましたので、お知らせいたします。今後ともよろしくお願いいたします。

施設入所・生活介護
大田 あずさ



就労継続支援B型
市田 美千代



皆さんの想いに寄り添って...

女性棟支援員の坂元由貴と申します。私は、男性棟に従兄が入所、長男が通所していますので、愛の浜園の職員でもあり家族会員でもあります。私が女性棟に初出勤した際に感じたことを皆様にお知らせしたいと思います。私の長男は大島養護学校高等部を卒業後、就労B、短期、通所で4事業所ほど利用経験がありますが、各事業所での一日の動きや流れなどは、機会がないこともあり見たことがありませんでした。女性棟に早出で初出勤した日、まず丁寧な申し送りです。利用者さん方が穏やかに園生活を送れるよう、細やかに気を配る—女性支援員の皆さんの志を知ることができた瞬間でした。次に起床支援です。私は家庭内では長男一人でもバタバタです。はたからみるとこの大人数を一体どのように…と思いますが、一日の担当が割り振られていますので、起床、洗面、布団上げ、更衣がスムーズに進み、人数の多さを感じません。食事、入浴にしても然り、スムーズに進んでいきます。私は心底感激しました。一日のしっかりした流れ、利用者さんに対する職員の思いはどの施設も同じだと感じ、お世話になった他施設の職員に改めてお礼をお伝えしたほどです。長男が養護学校生だったころ、学校に行くといろんなタイプの生徒さんがいて、私は自分の子供のことしかわからないなと感じたものです。施設にも当然ながらいろんなタイプの利用者さんがいらっしゃいます。誰一人同じ人はいません。職員は一人一人の特性を理解し、その利用者さんに合った接し方を心掛けています。男性棟に入所している私の従兄は男性職員との時間が長いため、職員は私より従兄のことを理解して下さっています。利用者さん方がご自宅で暮らすとなると、保護者の皆様には終わりがなく、大変だと思います。私たち職員には一日の担当があり、交代があり、しっかり休日があります。ですので愛の浜園に、安心してご家族をお預けください。家族目線で言いますと、家で一緒に暮らしたいと思われるかもしれませんが、職員目線で言いますと、愛の浜園で暮らすことができるのは幸せな事です。職員は本当に利用者さん方のことを、心から大切に感じています。自分の職場のことをほめているのはおかしいかもしれませんが、職員と家族会員という両方の立場であることを、この際うまく利用させてもらい、ご家族の皆様安心して頂きたいという思いから、この文を書いています。より一層頑張っていきますので、今後ともよろしくお願い致します。(記事: 坂元)